

2002年4月19日

[参考資料・リリース抜粋日本語訳]

ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス 2002年度第1四半期業績 医薬品のマーケットシェア増大で、ダイナミックな成長を持続

- 2002年第1四半期におけるノバルティス グループ全体の売り上げは、現地通貨ベースで13%増（スイスフランベースで10%増）を達成。
- すべての地域における循環器領域、がん領域そして眼科領域製品の需要拡大が牽引力となり、医薬品は2桁の成長（現地通貨ベースで16%増、スイスフランベースで14%増）。
- 純利益は、業務パフォーマンスと財務収入の目覚ましい改善により、スイスフランベースで20%の急増。

主要連結財務データ

	2002年 第1四半期			2001年 第1四半期			前年比	
	百万 スイスフラン	億円	%	百万 スイスフラン	億円	%	百万 スイスフラン	%
グループ全体の売り上げ	7 967	6 294		7 224	5 707		743	10
営業利益 対売り上げ比	1 822	1 439	22.9	1 545	1 221	21.4	277	18
純利益 対売り上げ比	1 788	1 413	22.4	1 485	1 173	20.6	303	20
社員数 (人)	72 631			69 491			3 140	5
1株当たり利益/ADS (米 国預託株式 (スイスフラン・円))	0.70	55.3		0.57	45.0		0.13	23

換算レート: 2002年 1スイスフラン = 79円
2001年 1スイスフラン = 79円

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1スイスフラン = 79円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。

バーゼル発、2002年4月18日

ノバルティスの会長兼最高経営責任者であるダニエル・バセラは、次のように述べています。「私たちがダイナミックな業績を引き続き達成することができたのは、革新的な研究開発と成長に投資するという一貫した戦略によるものです。私たちは、成長の鍵となる米国市場においてマーケットシェアを獲得し、循環器領域とがん領域におけるリーディング

ポジションをより強化しました。2002年には研究開発への投資をさらに増大し、長期的な企業競争力を高めると同時に、経営資源を成長し続ける戦略ブランドに集中していく方針です。今年2月には、コンシューマーヘルスセクターを再編し、新たな事業体を組織するとともに、約8億5,000万スイフラン（約670億円）の売り上げを有する健康・機能性食品ビジネスを分離するという計画を発表しました

グループ全体の売り上げは10%増の80億スイフラン（約6,320億円）

グループ全体の売り上げは現地通貨ベースで13%増（スイスフランベースで10%増）を達成し、前年同期レベルを上回りました。成長の牽引力となったのは、医薬品における持続的かつダイナミックな成長とジェネリックの好調な売り上げ、そして米国における好業績でした。

営業利益は18%増の18億スイフラン（約1,422億円）

グループ全体のマーケティングおよび流通分野への投資の伸びは、売り上げの伸びを下回りました。研究開発への投資は12%増加し、対売上比13%を維持しました。一般管理費はOTC分野における合弁会社の解散にかかる費用やその他経費によって、対売上比率がわずかに上昇しました。結果として、営業利益は実質18%増の18億スイフラン（約1,422億円）となり、グループ全体の営業利益率は22.9%で、前年同期の21.4%に比べ改善されました。

純利益は20%増の18億スイフラン（約1,422億円）

純利益が過去最高を記録した要因は、営業利益が堅実に伸びたことに加え、純財務利益が74%増の3億7,800万スイフラン（約300億円）とこれまで以上に高かったことです。税額は3億9,800万スイフラン（約314億円）で、その結果、税率は前年同期より1.2%増の18.2%となりました。

今後見通し

医薬品セクターは、主要ブランドの好業績と新薬の上市や適応追加などに支えられ、さらにその成長が加速すると期待されています。2002年第1四半期の堅実なスタートによって、医薬品セクターが年間で10%レベルの売り上げ成長を達成し、それに牽引され営業利益も同様の伸びが見込まれます。予想外の新製品や適応追加での承認の遅れなどが無い限り、安定した営業利益率が確保できると考えられます。

その他のセクターでは、それぞれの市場の動向に連動した成長が期待されており、医薬品セクター以外での営業利益率は、業界平均レベルの維持を見込んでいます。

予想しがたい要因を除けば、2002年のグループ全体では1桁半ばから後半レベルの売り上げの伸びと、それに連動した営業利益の成長が期待されています。純財務利益については予想が非常に困難ですが、昨年よりはやや下回るものの、純利益は記録的な高いレベルを達成するものと期待されています。

セクター別業績

セクター別売り上げ

	2002年第1四半期		2001年第1四半期		前年比	
	百万 スイスフラン	億円	百万 スイスフラン	億円	スイスフラン ベース (%)	現地通貨 ベース (%)
医薬品	5 153	4 071	4 538	3 585	14	16
ジェネリック	646	510	528	417	22	26
OTC	571	451	601 ¹	475	-5	-3
アニマルヘルス	252	199	240	190	5	8
医療用栄養食品 ²	375	296	373 ¹	295	1	3
乳幼児用栄養食品	542	428	521 ¹	412	4	3
チバビジョン	428	338	423	334	1	4
合計	7 967	6294	7 224	5 707	10	13

換算レート:2002年 1スイスフラン = 79円

2001年 1スイスフラン = 79円

¹ 小売業者に対する一部の売上インセンティブと値引きの区分変更により、計算し直した。2001年第1四半期においてOTC、医療用栄養食品、乳幼児用栄養食品の売り上げは、それぞれ3,000万スイスフラン（約23億7,000万円）、1,100万スイスフラン（約8億6,900万円）、5,500万スイスフラン（約43億4,500万円）減少しており、これに連動してマーケティングおよび流通関連費も減少している。

² 健康・機能性食品を含む。

医薬品

売り上げ

第1四半期における医薬品の売り上げは、現地通貨ベースで16%増（スイスフランベースで14%増）で52億スイスフラン（約4,100億円）を達成しました。すべての国で業績が好調で、特に米国においては循環器領域、がん領域および眼科領域の製品の需要の拡大が牽引力となり、売り上げは23%増と急成長を遂げました。

営業利益

販売数量の増加による売り上げの堅調な成長に後押しされ、医薬品セクターの営業利益は16%増となりました。研究開発への投資は、2001年後半に開始された新しい研究戦略とそのプロジェクトを開発の最終段階に推進するために10%増大されました。

ハイライト

ブラマリーケア

高血圧症治療薬「**ディオバン/コディオバン**」の売り上げは、引き続きダイナミックな伸びを達成しました（80%増、米国：102%増）。「ディオバン/コディオバン」は、米国におけるアンジオテンシン受容体ブロッカー（ARB）のリーディングポジションをさらに拡大しました。

「ディオバン」の米国での売り上げは、グローバル全体の売り上げの半分以上を占め、第1四半期末には米国ARB市場で36.8%のマーケットシェアを獲得しました（週間IMS全処方薬データ）。また米国では、新たな剤型として錠剤が発売され、また320mgの剤型も加わり、このカテゴリーの他のいずれの製品よりも、フレキシブルでより幅広い用量選択が可能となりました。さらに3月には、Val-Heft (Valsartan Heart Failure Trial) の新しい結

果が発表され、「ディオバン」はACE阻害薬を服用していない心不全患者の死亡を33%、心血管イベントを44%と有意に低下させました。

高血圧治療薬「チバセン」の売り上げも39%増（米国：49%増）と好調です。

高コレステロール治療薬「レスコール/ローコール」の売り上げは、XL錠（徐放性製剤）の上市と、他のスタチン製剤に比べ優れた安全性と有効性を有することが証明されたことにより、大きく伸びました（31%増、米国：39%増）。「レスコール/ローコール」の安全性と有効性は、1月に発表された9,000例を対象とした解析結果からの新データと、「レスコール/ローコール」が将来の致死性および非致死性の心イベントを予防することを証明した、3月に発表されたLIPS (Lescol Intervention Prevention Study) の画期的な成績によって、裏付けられています。

抗真菌薬「ラミシール」の売り上げは、2001年末の米国での在庫増加の影響で減少しました（16%減、米国：42%減）。しかし、足爪真菌症の治療における長期治癒率は、競合品であるイトラコナゾールより「ラミシール」のほうが有効性が高いことを示す臨床試験L.I.O.N.I.E.S. (The Lamisil versus Itraconazole in Onychomycosis Icelandic Extension Study)の結果が3月に発表され、「ラミシール」はマーケットシェアを獲得することに成功しました。

最近上市の新薬および開発パイプライン

新しい非ステロイド性クリーム「エリデール」が湿疹の治療薬として米国で初めて上市されました。EUでは、まずデンマークで承認を取得し、最近ではさらにメキシコとコロンビアでも承認されました。第1四半期に発表された臨床試験データは、「エリデール」による治療で成人患者の82%に湿疹の改善が見られたことを示しています。

がん領域

ノバルティスのがん領域事業部門の売り上げは、「グリベック」の上市と「フェマーラ」「ゾメタ」、そして「サンドスタチン」の好業績に牽引され、非常に堅調に成長しました（現地通貨ベースで28%増）。

慢性骨髄性白血病（CML）治療薬「グリベック」の第1四半期における売り上げは、1億8,300万円（約145億円）に到達しました。現在すでに60カ国以上で承認されている、この画期的な抗悪性腫瘍薬は、先月フランスの権威あるPrix Galien賞を受賞しました。また、New England Journal of Medicine 2002年2月号には、慢性期CML患者でグリベックによる治療を受けた患者の95%が18ヵ月間生存したことが報告されました。ノバルティスでは2002年半ばまでに、新たにCMLと診断された患者の治療にもグリベックを適用できるよう、適応追加を申請する予定です。一方2月には、米国でGIST（消化管間質腫瘍）の追加適応が承認され、続いてスイスでも承認を取得しました。また、CPMP（欧州の医薬品委員会）からも承認勧告を得ており、この生命を脅かす疾患の治療のためにまもなく承認が得られると見込まれています。

悪性腫瘍による高カルシウム血症治療薬「ゾメタ」は、1億1,200万スイフラン（約88億円）を達成しました。また2月には、FDA（米食品医薬品局）から多発性骨髄腫および肺がんや乳がん、その他の固形がん、さらには前立腺がんなどの悪性腫瘍の骨転移治療薬として、幅広く承認を取得しました。この分野では効果のある治療に対するニーズが非常に高く、大

きな市場性もあります。3月からは、米国で泌尿器科医へのプロモーション活動が開始されました。第3四半期には、EUにおいても骨転移についての承認が期待されています。

ホルモン過敏性の閉経後の進行性乳がん治療薬の第1選択薬「フェマーラ」は、前期を63%増と大きく上回る売り上げを記録しました。これはアロマターゼ阻害剤の市場がグローバルに急速に拡大していることによるものです。「フェマーラ」の in vivoでのエストロゲン濃度抑制効果が、アナストラゾールより優れていることを示すデータが発表されました。さらに、第2選択薬として両薬剤を直接比較したデータが、5月の米国臨床がん学会（ASCO）において発表される予定です。

末端肥大症およびカルチノイド症候群の治療薬「サンドスタチン」は、簡便で、1ヵ月1回投与の徐放性製剤LARの成功によって、その市場において引き続き堅調な成長を達成しました（30%増、米国：47%増）。

眼科領域

眼科領域は現地通貨ベースで25%（スイスフランベースで22%増）の売り上げ増を記録し、昨年第1四半期の売り上げを上回りました。これは主に、「ビスサイン」の好調によるものです。

滲出型加齢黄斑変性症に伴い発症する脈絡膜新生血管形成の治療薬「ビスサイン」の売り上げは、新たな適応症の追加、主要なヨーロッパ市場における保険払い戻し状況の改善、地理的な拡大などにより引き続き堅調に増大しました（47%増、米国：40%増）。「ビスサイン」による治療は、その主要な適応が現在60カ国で承認されており、EU、米国、カナダを含む35カ国以上で追加の適応症が承認されています。また、「ビスサイン」による治療の認知度を高めるために、2月から米国でダイレクト・ツー・コンシューマー・マーケティング キャンペーンを開始しました。

抗アレルギー薬やドライアイ、緑内障の治療薬など眼科領域におけるその他のビジネスにおいても、着実に売り上げを伸ばしています。

移植・免疫領域

免疫抑制剤のスタンダードである「ネオーラル/サンディミュン」の売り上げは、主に米国での堅調な業績（7%増）とヨーロッパでの好調により、前年同期比1%減に留まりました。

「ネオーラル」を補完し、その臨床効果を最適化する目的で開発された「シムレクト」は、大部分の国や地域ですでにその市場での地位を確立していた競合製品からシェアを奪取し、28%（米国：72%増）もの売り上げ増を記録しました。

マチュアプロダクト

主要市場におけるマーケティングとフィールドフォースのさらなる生産性強化の結果、2002年第1四半期にはマチュア製品の売り上げ減少傾向がスローダウンしました。鎮痛・抗炎症薬「ボルタレン」の減少率は予想通りの3%減で、米国の抗炎症薬市場では33%減となりました。

ジェネリック

ジェネリックの売り上げは、前年は非常にスタートが遅かったこと、新製品の上市、販売量の増加、最近の買収などを反映して、現地通貨ベースで26%増（スイスフランベースで22%増）で6億4,600万スイフラン（約510億円）に急増しました。

OTC薬

OTC薬の第1四半期における売り上げは、5億7,100万スイフラン（約451億円）に達しました。

アニマルヘルス

一般的に動物薬市場は低迷傾向にありますが、アニマルヘルスの売り上げは前年同期に比べると現地通貨ベースで8%増加（スイスフランベースで5%増）し、2億5,200万スイフラン（約200億円）を達成しました。1月に買収した米国のワクチン事業が売り上げ成長に6%も貢献しました。また、ヨーロッパでの売り上げの拡大や、ラテンアメリカやアジア太平洋地域での好業績も、売り上げ増の貢献要因の一つです。米国における第1四半期の売り上げは、春の販売促進活動を第2四半期にシフトしたため、低調に留まりました。

豚の呼吸器および消化器疾患用抗生物質「タイアムチン」や「エコノア」の好調によって、畜産動物事業は堅調な売り上げ成長を続けてきました。ワクチン事業および水産薬事業は引き続き非常に好調で、乳牛用の新しいワクチンの米国での上市によって、さらに強化されました。コンパニオンアニマル事業は、特にノミ駆除の市場において激化する競争に直面しています。しかし、犬糸状虫駆除薬「インターセプター」の堅実な業績や、犬や猫の心臓病や腎不全の治療薬である「フォルテコール」の成長によって、利益を得ています。

医療用栄養食品

医療用栄養食品と健康・機能性食品の売り上げは、現地通貨ベースで3%増（スイスフランベースで1%増）の3億7,500万スイフラン（約300億円）でした。

乳幼児用栄養食品

乳幼児用栄養食品セクターは、引き続き市場成長を上回るペースで推移し、出生率が微増だったにもかかわらず、第1四半期での売り上げは現地通貨ベースで3%増（スイスフランベースで4%増）で、5億4,200万スイフラン（約428億円）を記録しました。

チバビジョン

第1四半期の売り上げは、現地通貨ベースで4%増（スイスフランベースで1%増）で4億2,800万スイフラン（338億円）で、コンタクトレンズの「フォーカスシリーズ」と、日本でも上市されたカラーコンタクトレンズ「フレッシュルック」が牽引力となりました。眼科用サージカル事業では、後房用眼内レンズ「Vivarte」がヨーロッパで上市されました。私たちはプレスビー・コーポレーションと、この革新的な眼科用サージカル製品の全世界でのライセンス契約を締結しました。

レンズケア事業は市場自体が低迷していますが、この1月に米国でもFDAの承認を取得した「*SOLO-care PLUS*」などの、改良されより簡便になった製品を次々と発売することによって、業績を維持しています。

2002年業績発表予定

7月22日 上半期および第2四半期業績発表
10月17日 9ヵ月および第3四半期業績発表

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照ください。

ノバルティスは、医薬品、コンシューマーヘルス、ジェネリック、アイケア、動物薬を事業の柱とする、ヘルスケアにおける世界的リーダーで、ニューヨーク証券取引所に上場しています。ノバルティス グループの2001年度の売り上げは320億スイフラン(約2兆2,400億円)、研究開発には約42億スイフラン(2,940億円)を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約72,600人の社員を擁し、世界140ヵ国以上で事業を行っています。

詳細は、<http://www.novartis.com> をご覧ください。

年間の事業内容および財務内容の詳細につきましては、2001年アニュアルレポートをご参照ください。

医薬品売り上げ上位 20 製品

製品名	適応	百万		前年比%	
		スイスフラン	億円	スイスフラン ¹ -ス	現地通貨 ¹ -ス
ディオバン/コディオバン	高血圧症	601	475	76	80
ネオオラル/サンディミュン	移植、慢性関節リウマチ、乾癬	451	356	-4	-1
チバセン/ロテンシン	高血圧症	417	329	40	39
サンドスタチン(グループ)	末端肥大症	250	198	29	30
ラミシール(グループ)	真菌症	237	187	-19	-16
ボルタレン(グループ)	炎症/疼痛	236	186	-9	-3
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	217	171	28	31
アレディア(グループ)	悪性腫瘍による高カルシウム血症	194	153	-40	-40
グリベック	慢性骨髄性白血病	183	145	n.a.	n.a.
テグレートール	てんかん	162	128	5	8
ミアカルシック	骨粗鬆症	149	118	-13	-13
ホルモン置換療法シリーズ ¹	ホルモン置換	125	99	24	25
レボネックス /クロザリル	難治性の精神分裂病	124	98	-7	-5
エクセロン	アルツハイマー病	121	96	22	23
ビスダイン	滲出型加齢黄斑変性症	115	91	44	47
ゾメタ	悪性腫瘍による高カルシウム血症	112	88	n.a.	n.a.
フォラジール	ぜんそく	108	85	13	15
ファンビル(グループ)	抗ウイルス剤	103	81	26	26
トリレプタール	てんかん	82	65	82	82
フェマーラ	閉経後乳がん	69	55	60	63
トップ 20 製品トータル		4 056	3204	21	23
その他の製品		1 097	867	-7	-3
全製品トータル		5 153	4071	14	16

2001年第1四半期の業績は、一部製品の他セクターへの移転の売り上げに基づいて集計し直した。
Clima/Meriシリーズを含む。

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1スイスフラン = 79円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。